

「SCS評価制度」の自己採点の勘所【オンラインライブ】（4126286）

2027年4月から「SCS評価制度」が始まります。『当社は、「★3」だけの話なので、そこさえクリアできれば』と安心している情報システム部門の方も見受けられます。本セミナーでは、「アンケート」として自己採点をする際の「質問事項の解釈」を洗い出します。最終的に○△×を会場の皆さんと一緒に採点し、「難易度が高い質問」に関して対処を検討します。

開催日時	2027年1月12日(火) 9:00-16:00ライブ配信	
JUAS研修分類	セキュリティ(サイバーセキュリティ)	
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル	
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：留意点	
講師	石橋正彦 氏 (サイバー研究所 所長) 日本ユニシス(現BIPROGY)では中央銀行/都市銀行/信託銀行においてSWIFT決済に従事。ベリングポイント(現PwC)/ガートナーにてリスク管理を担当。フィナンシャルシステムプラン以降、勘定系のネットバンキング業務に従事。JUASでは研究会に12年在籍し、講師を8年に渡り実施。	
参加費	JUAS会員企業/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	オンライン配信（指定会場はありません）	
対象	情報システム部門のインフラ担当、同システム企画担当者、同セキュリティ/リスクマネジメント担当 職務：開発/保守/運用、リスクマネジメント レベル：システムエンジニア初級 初級	
開催形式	講義	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト

開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

「SCS評価制度」の自己採点の勘所

ーアンケート方式で★3を自己採点する際、どうしても甘く評価を付けてしまう情シス担当の方へ

2027年4月から「SCS評価制度」が始まります。

『当社は、「★3」だけの話なので、そこさえクリアできれば』と安心している情報システム部門の方も見受けられます。

本セミナーでは、「アンケート」として自己採点をする際の「質問事項の解釈」を洗い出します。

最終的に○△×を会場の皆さんと一緒に採点し、「難易度が高い質問」に関して対処を検討します。

◆主な内容

第1部 はじめに

・「SCS評価制度」とは

・従来のISMS(ISO27001)などの認証制度と、どこが異なるのか

・「お助け隊」とは

・「登録セキオペ」とは

第2部 発注企業の定義

- ・発注企業が、受注側に適切な段階(★)を提示し、示された対策の実施を促すとともに、実施状況を確認することを想定

第3部 受注側の定義

- ・アンケート方式
- ・実査方式
- ・★取得をどのような要件として契約上扱うかは、契約当事者同士で円満に合意されるべきものであり、独占禁止法上及び取適法上適切に本制度を活用

第4部 設問

- ・ガバナンスの整備
- ・取引先管理
- ・リスクの特定
- ・攻撃等の防御
- ・攻撃等の検知
- ・インシデントへの対応
- ・インシデントからの復旧

第5部 まとめ：評価が低い×だった項目、△だった設問

- ・ツールで対処するか、手管理で対処するか

第6部 まとめ：従来の実査（金融機関などの委託先監査）をした方の評価が正確

- ・金融の実査の特徴
- ・アンケートでの自己申告では、評価にバラつきがやすいこと
- ・認証制度を見直してみる「6規格統合運用」など
- ・発注側から受注側への拘束力
- ・★4の難易度